

薬剤部

薬剤部長 古川 博則

〔令和5年度部門目標〕

- ・病院の目標に対する薬剤部の目標
安全・安心な医療を提供し、信頼される薬剤師業務を遂行する。
- ・薬剤部の課題に対する目標
適正な薬物療法を提案できる薬剤師をめざす。
患者さんの立場に立って、心あたたまる態度で対応する。
良好なコミュニケーションをとり、チームワークを活かして業務を行う。

1 業務体制

(1) 業務スタッフ

常勤薬剤師 20 名（うち育児時短勤務 2 名）、非常勤薬剤師 8 名、非常勤助手 3 名

(2) 業務内容

○調剤室業務	外来・入院調剤 外来・入院化学療法：注射箋調剤監査・調製 術前中止薬説明
○薬品庫業務	注射・外用薬定時払出、注射・外用薬臨時払出、注射箋薬剤払出
○製剤室業務	T P N 調製、院内製剤調製
○医薬品管理業務	麻薬管理、向精神薬管理、毒薬管理、特定生物由来製剤管理、 一般薬管理、マスタ管理業務 など
○夜間救急診療業務	採用医薬品管理
○D I 業務	医薬品情報管理・提供、副作用報告
○病棟業務	服薬指導、病棟薬剤業務、病棟薬品管理
○外来業務	外来患者服薬指導、がん患者指導、医薬品管理

2 業務実績（表 1）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
院外処方箋発行率（%）	96.2	95.2	95.5
外来処方箋枚数（院内）	1,638	2,114	2,002
入院処方箋枚数	28,770	24,661	25,208
入院注射箋枚数	34,432	29,269	29,696
薬剤管理指導料算定件数	12,431	11,255	11,491
化学療法ミキシング件数	1,294	1,103	1,148
TPN 調製件数	33	140	45

- ・令和5年度 第30回 千葉市薬剤師会学術講演会
「海浜病院におけるトレーシングレポートの活用」
- ・令和5年度 千葉市立海浜病院 薬薬連携の会
「当院における薬薬連携の取り組みについて」
「当院における胃がん化学療法について」
- ・令和6年能登半島地震医療派遣
日本DMAT隊：薬剤師1名
日本病院薬剤師会災害ボランティア派遣 1名

3 1年間の経過と今後の目標

薬剤管理指導について、令和4年度は11,255件、令和5年度は12,431件と月平均約100件増加した。院外処方箋発行率は、令和4年度から1ポイント増加して96.2%であった。

化学療法のミキシングについては、6月より抗がん剤以外の生物学的製剤のミキシングを開始し約190件/年増加した。

また、術前中止薬説明業務拡大のため、「術前等に中止を考慮する薬剤一覧」を改訂し、中止期間の統一化を進めて、介入する診療科を拡大した。

新規業務として、病棟管理を必要とする患者の定期処方薬を薬剤師が配薬カートにセットする業務を一部の病棟から開始した。今後、全ての病棟で導入していきたい。

今後の目標としては、診療科の増加に伴う適正な人員配置や勤務体制を構築する。配薬カートセットを全病棟に導入する。また新薬等の医薬品情報に迅速に対応出来るように自己研鑽に励み、病棟業務や外来業務に質の高い介入を目指し、常に患者の気持ちに寄り添い安心して信頼される薬剤業務を遂行して行きたい。

〈資格取得〉

がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	1名
感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	2名
小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	2名
救急認定薬剤師（日本臨床救急医学会）	1名
糖尿病薬物療法履修薬剤師（日本くすりと糖尿病学会）	1名
日病薬病院薬学認定薬剤師（日本病院薬剤師会）	9名
認定実務実習指導薬剤師（薬学教育協議会）	5名
研修認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）	5名
がん専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	1名
栄養サポートチーム専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）	5名
日本DMAT隊員	2名
スポーツファーマシスト	1名
千葉県糖尿病療養指導士	1名
千葉県災害時支援薬剤師	1名
心不全療養指導士（日本循環器学会）	1名